

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 瀬戸小 学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標 児：児童アンケート数値 職：職員アンケート数値	中間評価（10月1日）				最終評価（2月末）				
							目標に係る取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	目標に係る取組状況 ◎短期（中期）経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
1	課題発見・ 解決力、コミ ニケーション力の 向上	★	新規	○ 自ら問いや 考えを持ち、伝 え合い・聴き合 いながら、最後 までやりぬく児 童を育てる＝研究 主題	①深い単元(教材)解釈・分析に基づく 単元構成・授業展開(問いを持つ・ 考える⇒伝える・聴く・話し合う⇒ まとめる・振り返る・見直しを立て る)の工夫・改善。 ②個の学力課題に応じた、細やかに 粘り強い指導・支援の工夫・改善。	児：①～③80%以上 ☆100% ①授業では、自ら問い(なぜ・どうし て・どうすれば)を持ち、習った事・ 知っている事などをつなげながら考えて いる。 ②授業で、友だちと話し合うことは楽し い、友だちと話し合いながら、自分の考 えを広げたり、深めたりしている。 ③授業で学んだことをふり返り、生活経 験や他の教科などをつなげたり、次の学 びの見直しを立てたりしている。 ☆授業は、面白い。									
4	豊かな心の 育成		継続	○ 多様な他者 とかかわり合い ながら共感的な 人間関係をきず き、共によりよ く生きようとし る児童を育てる ＝めざす子ども像③	①子ども主体の異学年集団活動(掃 除、行事、集会、遊び等)、児童会⇒ 委員会(クラブ)⇒学級活動の運動・見 える化・評価。 ②日々の学級活動(朝・終わりの会、 給食等)と、授業学活・道徳・行事と の関連付け(ふり返りの活用)。 ③多様な他者とのよりよいかかわり を、自ら示しつつ日常的に促す。 ④欠席が続く児童への取組・対応の 具体化・継続	児：①～③80%以上 ①人とかかわり合うことは楽しい・誰か の役に立ちたい等<自己有用感> ②自分のよさは周りの人たちに認めら れている 等<自己肯定感> ③周りの人たちに友だち、先生、お家の 人、地域の方などと、笑顔でかわり 合っている＝返事・あいさつをする お 礼を言う お手伝いをする など。 地域・PTA行事に参加し、お礼を 言ったり、時には準備や片付けなどを手 伝ったりしている。 ④欠席数の減少									
1	たくましい 体の育成		新規	○ 人とかかわ り合って運動す る面白さを味わ いながら、自己 ベストめざして最 後までやりぬく 児童を育てる。	①体育の授業や体育朝会、外遊び等 を通して、人とかかわり合って運動 することの面白さを実感させる。 ②体育の授業や体力テストで、自己ベ ストや「もう1回・もう1m」等に、こ だわりを持たせる。	①児：人とかかわり合って運動すること は、面白い！80%。 ②体力テストで、自己ベスト更新児童80% <種目・時期・比較対象⇒各学年判断>									
1	信頼される 学校づくり の推進		新規	○ 子どもの姿 を通して、地 域・保護者との 信頼関係を深め る＝働き方を見直 し・改善しながら	①各業務・教育活動の目的・内容・ 方法(何のために・何を・どのよう に)を自らに問い続け、見出した改 善策を同僚と話し合ったり、共有化 したりしながら、働き方改革に挑戦 する。 ②単元・授業づくりに係る時間を計 画的に生み出す。 ③子どもと笑顔でかわり合う時間 を意図的に生み出す。	①時間外勤務月45時間を超える月を、 0に近づける(昨年度比 各月) ②職：単元・授業づくりに係る時間を、 計画的に生み出している80% ③職：子どもと笑顔でかわり合う時間 を、意図的に生み出している80%。 ☆児：学校は楽しい100%									

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。